

江戸川乱歩作品研究

—「人間椅子」「屋根裏の散歩者」「陰獣」を中心に—

目次

序論

第1節	研究目的	1 頁
第2節	先行研究	3 頁
第3節	研究方法	5 頁

本論

第1章	江戸川乱歩の「探偵小説」—ジャンル論からのアプローチ—	11 頁
第1節	「探偵小説」について	11 頁
第2節	江戸川乱歩の登場と作品概観	19 頁
第2章	「人間椅子」論	25 頁
第1節	「人間椅子」の構造分析 —作中作としての「人間椅子」—	25 頁
第2節	「人間椅子」における感覚表現 —視覚・触覚を中心に—	38 頁
第3節	「人間椅子」の人物造形 —〈私〉と佳子を中心に—	53 頁
第3章	「屋根裏の散歩者」論	62 頁
第1節	「屋根裏の散歩者」の構造分析 —倒叙法としての「屋根裏の散歩者」—	62 頁
第2節	「屋根裏の散歩者」における視線描写 —「覗き」を中心に—	78 頁

第3節 「屋根裏の散歩者」の人物造形 —犯人郷田三郎・探偵明智小五郎・被害者遠藤を中心に—	91 頁
第4章 「陰獣」論	105 頁
第1節 「陰獣」の構造分析 —「探偵小説」の三要素についての考察—	105 頁
第2節 「陰獣」の身体描写 —マゾヒズム行為における嗜虐の愛と被虐の悦び—	113 頁
第3節 「陰獣」の人物造形 —寒川・大江春泥・静子の三人を中心に—	122 頁
結論	
結論	135 頁
参考文献	
参考書籍	140 頁
参考論文	141 頁



序論

